

## 線維腺腫の診断と治療

日常外来でよく遭遇する乳腺の良性腫瘍です。好発年齢は20～30台の若年女性に多いです。若年者で時に著しく大きくなるものもあり、そのような場合は巨大線維腺腫と呼ばれています。症状は腫瘤の触知であり、通常疼痛は伴いません。

### 診断：

触診では比較的境界明瞭で球形～卵形の腫瘤で、表面平滑、弾性硬な腫瘤として触れることが多いマンモグラフィでは円形で均一な腫瘤像として認められることが多く、高齢者の場合には大型の石灰化を有するものもあります。超音波では円形または楕円形の低エコー腫瘤として描出され、境界部は明瞭平滑で内部エコーは比較的均一、縦横比は小さいものが多いです。細胞診として典型的な像は増殖の見られる腺細胞の集団を背景に、間質由来の細胞の双曲裸核の存在です。病理組織像は乳腺の間質の結合織成分と上皮成分の増殖による混合腫瘍です。

### 治療：

治療は基本的には外科手術しかありませんが、時には経過観察のみで可能な場合もあります。切除を考慮する対象として臨床所見や画像所見で悪性所見が疑われるもの、2～3cm以上に増大してきたもの、経過観察中に増大傾向が認められるものがあげられます。